

愛知県美術館の「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」、本日8月11日より、ポロック展公式ウェブサイト上ほかで前売券オンライン販売開始です！ それぞれ当日券価格から200円OFFの、一般前売券＝1,200円、高大生前売券＝800円です。さらにお得な早割ペアチケットもあります。一般2枚組（切り離し使用可）＝2,000円。

今日、8月11日はポロック展スタート（11月11日）のちょうど三ヶ月前。そして、たまたまポロックの命日でもあります。（ここからは、いつもの「ポロックの足跡を訪ねて」風に・・・）



▲ ポロックの死亡事故現場（2003年撮影）。右側の木の幹には、花輪が二つ捧げられています。



▲ ポロックが自分の運転する自動車で死亡事故を起こした時に履いていた靴の片方（本物）。その隣のホイールカバーの方は、ポロックの愛車に付いていた本物ではありませんが、それと同タイプのものです。この靴とホイールカバーのセット（ポロック＝クラズナーハウス・アンド・スタディセンター蔵）は、今回のポロック展に参考資料として出品予定です。

1956年、55年前の今日、ポロックは飲酒運転による自動車事故で命を落しました（享年44歳）。現場はイースト・ハンプトンの自宅まであとわずかのところ。これまで何度となく走って勝手知ったる道だったはずですが、ハンドル操作を誤って木立に突っ込み、車は横転。即死でした。



▲ ポロックの墓（2008年撮影）。

ポロックの遺体は、イースト・ハンプトンの「グリーンリバー墓地」に埋葬されました。今でもこの墓地は残っていて、ポロックの墓は小高くなった特別な一角にあります。妻のリー・クラズナーは1984年に亡くなりましたが、クラズナーもグリーンリバー墓地に埋葬されました。



▲ クラズナーの墓（2003年撮影）。ポロックの墓のそばにあります。

このグリーンリバー墓地は、普通の墓地ではありません。ポロックとクラズナーの住んだイースト・ハンプトンは、他の芸術家や批評家、詩人などにもゆかりの深い土地だった関係上、それらの人々の墓もここには多くあるのです。



▲ 右：「アメリカのアクション・ペインターたち」（1952年）という論文で有名な批評家、ハロルド・ローゼンバーグの墓（2008年撮影）。左：ローゼンバーグの妻の墓。



▲ 抽象表現主義の画家、アド・ラインハートの墓（2008年撮影）。



▲ 同じく抽象表現主義の画家、イレイン・デ・クーニング（ウィレム・デ・クーニングの妻）の墓（2008年撮影）。

私も亡くなったらぜひこのグリーンリバー墓地に墓を建ててもらいたいと、まだ存在せぬ私の子孫に対して勝手に願っている次第です。それはさておき、今回のポロック展では、ポロックの住んだイースト・ハンプトンをご紹介するDVDを制作し、展覧会会場で流す予定です。そのDVDの素材撮影に近々行きますが、その際、このグリーンリバー墓地の様子も撮影してくるつもりです。どうぞご期待ください！

(T.O.)